

対反強化防災院安保

06年指針改訂作業
“原発への不安感増大”

内閣府原子力安全委員会が、6年前に国際原子力機関（IAEA）の基準見直しに合わせて、原発事故に対応する防災指針を改訂しようとして作業部会で議論した際、経済産業省原子力安全・保安院が「原子力安全に対する国民の不安感を増大する」などと見直しに抗議、反対していたことが明らかになりました。同委員会が15日、それを示すメモなどを公開しました。

安全委員会は2006年3月、IAEAが基準の見直しを進めていたことを受けて、防災指針の見直しの作業部会を設置。原発から半径5キロ圏を目安に設定される「予防的防護措置準備区域」（PAZ）や、緊急時に避難や屋内退避ができるよう準備する同30キロ圏内の「緊急時防護措置準備区域」（UPZ）の設置などが議論されました。PAZは、重大な事故が起きた場合、放射性物質の大量放出前に圏内の住民を優先的に避難させなければならない区域です。

公開されたメモによると同年4月、保安院は防災指針の見直しで、「多大な社会的混乱を惹（じゃ）起（き）する」「格納容器の健全性に関する従来からの説明ぶりを変更することになるので、原子力

安全に対する国民の不安感を増大する」「財政的支援が増大する」などの理由を挙げ、作業部会での「検討を凍結していたきたい」と申し入れています。

また同年6月には「わが国の原子力防災については、着実に体制整備が行われており、特別の問題点や変更点はない」、作業部会の検討に「抗議する」などの意見を再三、同委員会に送っています。

結局、2007年に見直された指針にPAZなどの導入は盛り込まれませんでした。しかし、今回の福島第1原発事故を受けた防災指針の見直し作業で、PAZやUPZを設ける方針です。

保安院は15日の会見で、「当時、異議を唱えた。短時間で事故が進展するとも考えていなかった。今回の事故を踏まえてPAZが導入されるが、あらかじめ導入されていると違った対応ができた可能性がある」と述べるにとどまりました。2012年3月16日（金）

小選挙区制やめる決断を 穀田氏 各党協議会座長と 会談

日本共産党の穀田恵二国対委員長は15日、国会内で、衆院選挙制度に関する各党協議会の樽床伸二座長（民主党幹事長代行）と会談し、協議の進め方についての考え方（別項）を述べました。

穀田氏は、小選挙区の「0増5減」案を「緊急（応急）措置」として先行させようとする動きについて、「抜本改革を棚上げし、小選挙区制を恒久的に存続させることになりかねない」と指摘。協議が進展しない原因は「民主党だけが『比例定数80削減』に固執していることにある」として、比例80削減計画の撤回を主張しました。

現行の小選挙区並立制が民意を大きくゆがめることは多くの党の共通認識になっていると強調し、「『小選挙区制はやめる』という決断をし、その前提に立った議論に脱皮すべきだ」と提起しました。樽床氏は「うけたまわる」と述べました。

穀田国対委員長の発言

1、「0増5減」案の先行について

東日本地震・12号台風 への救援募金にご協力を

日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を引き続きお願いしております。ご協力をお願いします。

【郵便振替口座】

0017017198422

名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。ご協力よろしくお願いします。

磯城郡日本共産党議員団

先行論は、これまでの各党協議の経過をふまえていない。選挙制度は、この間の協議の積み重ねをふまえ、合意の上で行うべきである。

「0増5減」を「緊急（応急）是正措置」として先行させることは、小選挙区制を維持しつづけることが既成事実化され、抜本改革を棚上げすることになる。緊急・応急の措置が小選挙区制を恒久的に存続させることになりかねない。

しかも、その後に定数削減を議論することとなれば、比例定数がその対象となる危険がある。「民意の反映」を議論しながら、「民意を切る」ことにしてはならない。

2、政府・民主党の「比例定数80削減」を撤回すること

協議が進展しない原因は民主党が「比例定数80削減」に固執していることにある。議会制民主主義の土台のあり方を協議する障害となっている。

3、協議の進め方についての提案

昨年来の各党協議において、現行選挙制度の評価と問題点を前提に、（1）格差是正、（2）定数、（3）抜本改革についての議論してきた。各党が三つの問題についての見解をあきらかにしている。

重要なことは、現行小選挙区比例代表並立制が「民意を大きくゆがめる制度である」ことが多くの党の共通認識になっていることである。

今後の協議を進展させるためには、「小選挙区制はやめる」という決断をし、その前提にたった議論に脱皮することである。

2012年3月16日（金）

日本共産党発行
しんぶん 赤旗
日刊●月 3,400円
日曜版●月 800円

2012.3.20 NO.545

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 862-7 0745-43-2415
吉田容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 113-5 090-5257-4446
森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
（事務局）池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

その、川西町の三月議

会ですが。総額五十二億円の新年度予算が成立しました。これは、今年から着工する小学校建て替え費などが含まれていまして、通常の規模をその分が上回っての事です。これ以外の主な施策は、先にお伝えしてある七十歳以上の方を対象にした肺炎球菌ワクチン接種に對して三千円の補助が四月から始まります。これは、昨年来、町長等とも

議論を重ねて来た物です。
さあ、皆さん。住民の
意に添い、願いに応える
身近で役立つ政治に取り
組む川西町を、住民参加
で築いて行きま
しょう。

川西町議会議員
芝 和也



ところが、平成二四年
度予算には、グランドゴ

ルフ場の利用料を下げ
る計画はありません。老人
クラブ活動への補助金は
四年連続で減らされてい
ます。

プラン21は、高齢者の生活全体をとらまえ、高齢者が健康に過ごすための計画ですが、平成二四年度予算には全く反映していないのが残念です。はつらつ長寿プラン21を「絵に描いた餅」にするのか、高齢者がはつらつと過ごす町にするかは、町の取組姿勢が大きく影響します。

田原本町議会議員
吉田 容工



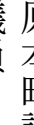
くいつも人から慕われて

いた記憶しかない。地位も学歴もない両親だが、私はその娘で本当に良かったと思う。

三月末に生まれた私は一年の中でこの季節が一番好き。三寒四温でまだ本格的な春にならない時期、いわゆる早春。木々は長かった冬の間、寒さ

に耐えながら蕾みをつけ
芽吹く準備をして来た。
そして木々たちは「さあ、
咲こう！」とあたかも打
ち合わせをしたかのように
花びらを開き始める。
私も一つ歳を重ねられる
幸せをかみしめ、新しい
歳の始まり、さあ、咲こ
う！！

田原本町議
會議員
森 良子

A black and white portrait of a woman with short dark hair, wearing a dark jacket over a light-colored top. She is smiling and has her right hand raised in a gesture.

値上げとなることになり

また、このほか、75歳以上の後期高齢者の保険料については所得割率が7・7%から8・1%へ引き上げられ、平成24・25年度は平均して34・0円引き上げられ、最高限度額（成果限度額）

50万円から55万円に
 東日本の大震災の復興支
 援として県町民税が平成
 26年度から10年間、
 10000円(県5000円、
 町5000円)負担するこ
 とになっていきます。
 野田内閣は2014年
 に消費税の税率を現在の
 5%から8%に、15年
 には10%に引き上げよ
 うと今国会に法案を提出
 し、国民に負担をさせよ
 うとしています。本当に
 国の予算で無駄がないの
 か、税金の使われ方を監
 視する必要がある
 あるのではな
 いでしょうか。
 三宅町
 池田 年夫

